

「第35回 地球環境大賞」募集

企業・団体を表彰 10月31日締め切り

フジサンケイグループは、産業の発展と地球環境との共生に寄与した企業や団体を表彰する「第35回 地球環境大賞」の募集を9月1日(火)から開始します。企業のほか、学校や自治体、NPO法人なども応募が可能です。締め切りは、10月31日(土)です。



地球環境大賞は、公益財団法人「世界自然保護基金(WWF)ジャパン」の協力を得て1992年に創設。これまでに地球温暖化防止、持続可能な環境活動を推進する369の企業・団体が受賞しました。有識者らによる審査を経て2027年3月に受賞者を発表。4月に授賞式を行う予定です。

詳細は、公式ホームページ(<https://www.sankei-award.jp/eco/>)をご覧ください。

「第35回 地球環境大賞」開催概要

主催：フジサンケイグループ(主管事務局:産経新聞社)

後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、総務省、
一般社団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所 (予定・申請中含む)

特別協力：公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン

表彰内容：地球環境大賞、経済産業大臣賞、環境大臣賞、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞
農林水産大臣賞、総務大臣賞、日本経済団体連合会会長賞、日本商工会議所会頭賞 他

応募資格：企業、自治体、学校、市民グループ(NGO、NPOなど)

※自薦、他薦は問いません。但し、個人での応募はできません。

締め切り：2026年10月31日(土)

審査期間：2026年11月～2027年2月(第1次審査、第2次審査、最終審査)

発表：2027年3月上旬予定(産経新聞紙上ほか)

授賞式：2027年4月予定

- 審査基準：1. 経済の発展と地球環境との共生に寄与している
2. サステナブルな社会の実現へ高い環境理念や行動計画を有し、SDGsの達成に向けて取り組んでいる
3. 独創性、先導性がある
4. 模範となり得る先進的な活動で地球規模の環境保全に貢献している
5. 技術・製品開発や活動で顕著な環境改善効果が期待できる
6. 産学官の連携や複数の事業者との共同事業化等で主導力を発揮している
7. 地域や社会との環境調和構築に積極的な役割を果たしている

「第34回 地球環境大賞」受賞企業・団体

地球環境大賞：戸田建設株式会社

経済産業大臣賞：セイコーエプソン株式会社

環境大臣賞：東京都下水道サービス株式会社、日本ヒューム株式会社

文部科学大臣賞：福島県立小名浜海星高等学校

国土交通大臣賞：旭化成ホームズ株式会社

農林水産大臣賞：福岡県築上町、築上町液肥利用者協議会、国立大学法人九州大学大学院農学研究院、
三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

総務大臣賞：株式会社NTTドコモ

日本経済団体連合会会長賞：豊田通商株式会社

日本商工会議所会頭賞：株式会社キミカ

フジサンケイグループ賞：花王株式会社、太平洋マテリアル株式会社

奨励賞：積水ハウス株式会社

奨励賞：北海道真狩高等学校